



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 183011

エポニックス#20中塗

1. 一般名 エポキシ樹脂塗料中塗
2. 規格 機械工事塗装要領（案）・同解説
3. 特徴 1) 耐酸性、耐アルカリ性等の耐薬品性及びガソリン、灯油等の耐油性にすぐれている。
2) 耐水性、耐海水性等の防食性にすぐれている。
3) エアレス塗装時の作業性にすぐれ厚塗り塗装が可能である。

4. 塗料性状

項 目	内 容
容姿	2 液性
荷姿	4 kg $\times$ 10 $\times$ 10 (主剤 : 3.4 kg、硬化剤 : 0.6 kg) 20 kg $\times$ 10 $\times$ 10 (主剤 : 17 kg、硬化剤 : 3 kg)
色相	白、各色
光沢	5 分つや
密度 (23℃)	塗料 1.37 (白) 揮発分 0.87
加熱残分	68% (白)
乾燥時間	温度 5℃ 10℃ 20℃ 30℃ 40℃ 指触 2 時間 2 時間 1.5 時間 1 時間 30 分 半硬化 24 時間 16 時間 8 時間 6 時間 5 時間
標準膜厚	40 μ m
引火点	S D S 参照
発火点	S D S 参照
爆発限界 (下限~上限)	S D S 参照

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項 目	内 容
素地調整	—
調合法	主剤 : 85 部、硬化剤 : 15 部 (重量比)
可使時間	5℃ 10℃ 20℃ 30℃ 40℃ 12 時間 10 時間 6 時間 4 時間 2 時間
気温、湿度制限※	気温 : 5℃以下、湿度 : 85RH%以上
使用シンナー	エポニックスシンナーB 及び同夏型、同真夏型
塗装方法	刷毛塗り エアレス塗装
希釈率	3~10%
参考塗布量※	180 g/m ² 220 g/m ²
標準膜厚※	40 μ m 40 μ m
ウェット管理膜厚	100 μ m 100 μ m
エアレス塗装条件	1 次圧 0.4MPa (4 kg/cm ²) 以上 2 次圧 12MPa (120 kg/cm ²) 以上 チップNo.163-515~715 (ケラコ) 又は相当品
塗装間隔※ (20℃)	最小 1 日 最大 10 日

注) ※は「機械工事塗装要領（案）・同解説」による。

6. 施工上の注意

- 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 余り塗装間隔が長くなると密着不良となる。規定範囲内で塗り重ねを終わるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウェスにて拭いて調整してから塗装すること。
- 希釈には必ずエポニックスシンナーB、同夏型、同真夏型のいずれかを使用すること。
- 塗装終了後の使用機器は直ちにシンナーで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第1石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	S D S 参照	S D S 参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意【警告】

- (1) 安全情報に関する内容は、S D Sをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。